

学 校 便 り



<http://www.katsushika-sh.metro.tokyo.jp/>

令和2年度の終わりに

校 長 山崎 久美

卒業生の門出を祝うかのように、校庭の桜が咲き始め、日に日にピンク色が濃くなってきました。3月18日は、晴天に恵まれ、葛飾特別支援学校第39回卒業式を挙行し、3年生54名が巣立っていきました。コロナ対応のため体育館には、来賓の姿はなく、1、2年生は、リモートによる別室での参列で、例年とは異なる卒業式でしたが、今年度は、保護者の方に卒業証書を受け取る姿を直接見ていただけで、本当に良かったと思っております。一週間前に行われた予行の時に比べ、立派にしっかりと証書を受け取る姿に、経験を積み重ねることで、一人一人が成長することを改めて実感するとともに、社会に出てからも自分らしく輝いて欲しいと願いながら心を込めて証書を手渡しました。

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大のため学校休業や分散登校など、生徒たちは、これまでに経験したことのない状況の中で、先が見通せず不安なこともあったと思いますが、新しい日常を受け入れながら実習などを重ねて進路決定し、一人一人が夢や希望をもって旅立っていきました。式辞の中では、卒業生がこれから迎えようとする社会生活が素晴らしいものであってほしいとの願いを込めて、最後のエールを送りました。

さて、1年生、2年生にも、本日、修了証を渡しました。合わせて持ち帰る「3学期のまとめ」や「個別指導計画」をお子様と一緒に読み、今年度の頑張りを確認するとともに、4月からの目標、そしてその先にある卒業後の生活をどのようにしていきたいのか、ぜひ話し合っていたいただきたいと思います。まだまだ、御家族の励ましや助言、見守りが必要なときです。よろしく願いいたします。

夢や希望をもつことは、とても大切なことです。しかし、その夢や希望を叶えるためには努力する必要があります。こんな生活をしたなどの将来像を思い描き、努力を積み重ねて一步一步、前進して夢や希望に近付いていきましょう。

最後になりますが、次年度につきましても新型コロナウイルス感染症対策を徹底した上で、教育活動を実施いたします。春季休業中も体調には十分注意し、4月に迎える新しい学年で、スムーズにスタートできますよう、見守ってください。よろしく願いいたします。

一年間、保護者の皆様、地域の皆様には、学校の様々な活動に御理解、御協力いただきありがとうございました。

春の訪れに

副校長 小原 由嗣

暖かさと肌寒さが交互に来て、いよいよ春の訪れを感じさせてくれます。今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、様々な行事や教育活動が中止や延期、縮小を余儀なくされ生徒の皆さん、保護者の皆様は大変残念な思いをされたことと思います。しかし、コロナ禍の中でも、感染症対策を万全に行ったりうえで、学習発表会や作業班販売ができたことは生徒の皆さんにとってとても大きな経験になったのではないかと思います。

昨日、食品加工班の生徒が校長と私のところに来てとてもしっかりと声で挨拶し、試作品の宣伝を行ってくれました。1年生の時は恥ずかしがったり、緊張したりしてなかなか人前で発表したり、説明したりすることが難しかった生徒が、素晴らしい態度でできたことがとてもうれしくなりました。生徒の皆さんの成長の一つ一つが、学校を輝かせてくれます。いつも通りの学校生活は難しくても、学校を見渡して見ると様々な成果が感じられます。できなかった係活動が確実にできるようになったり、努力した結果が検定の合格につながったりと、3学期はたくさんの成果を実感できました。コロナ禍のような大きな危機の後は、大きな回復があり、飛躍的な進歩があるといえます。今はまだ苦しく心配な日々が続きますが、この時期に蓄えた力を発揮して、近い将来大きく飛躍していきましょう。